

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		筑波研究学園都市研究交流センター		担当部局庁		研究振興局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		昭和51年度～平成22年度		担当課室		基礎研究振興課		基礎研究振興課長 内丸 幸喜	
会計区分		一般会計		施策名		IX-2 研究成果の創出と産学官連携などによる社会還元のための仕組みの強化			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等		第三期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		筑波研究学園都市には、産学官の様々な研究機関が集積している。このため、筑波研究学園都市の各研究機関における研究活動の有機的連携を図るとともに、国際協力を促進することで、研究活動の水準の高度化を図る							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		筑波研究学園都市研究交流センターが筑波研究学園都市における研究交流の中核機関としての機能を果たすため、当該機関において以下の業務を行う。 ・共同利用施設である国際会議場等の運営、研究交流集会等の業務 ・設備の改修、点検、警備、清掃及び会議場等の整備 等							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	69.4	60.0	55.5	-	-	
			補正予算	-	▲4.5	-	-	-	
			繰越し等	-	-	-	-	-	
		計		69.4	55.5	55.5	-	-	
		執行額		52.1	44.2	37.2	-	-	
執行率(%)		75.1%	79.6%	67.0%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		共同施設の利用者数 共同施設の利用回数		成果実績		利用者28,245 利用回数1,069	利用者19,456 利用回数1,042	利用者17,513 利用回数859	-
		※筑波研究学園都市の研究交流の促進のため国際会議場等の利用環境を整備し、広く研究集会等に供する。平成22年度は、耐震工事による利用制限があった。			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		当センターの支援等による会議開催回数		活動実績 (当初見込み)		35回	22回	21回	-
		※筑波研究学園都市の各研究機関等に係わる横断的な研究交流シンポジウムの開催や研究集会等を支援している。				()	()	()	()
単位当たりコスト		64,654(円/回)		算出根拠	55,538千円(平成22年度予算)/859回(22年度の国際会議場等の利用回数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

文部科学省
37.2百万円

庁費 34.4百万円
職員旅費 0.4百万円
情報処理業務庁費 0.8百万円
設備整備費 1.6百万円 } を含む。

〔共同利用施設の管理・運営等業務や施設の修繕を行っている。〕

【一般競争入札・請負】

A.東京美化株式会社
3.8百万円

〔施設の電気及び機械設備等の
保全管理業務〕

【一般競争入札・請負】

B.常陽メンテナンス株式
会社2.2百万円

〔施設の警備保安業務〕

【一般競争入札・請負】

C.東京美化株式会社
2.1百万円

〔施設の清掃業務〕

※庁費34.4百万円と役務3社合計8.1百万円の差は消耗品等の購入によるもので百万円未満の契約は省略している。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.東京美化株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	施設機械設備等保安全管理業務等	3.8			
計		3.8	計		0
B.常陽メンテナンス株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	警備保安業務等の運営業務	2.2			
計		2.2	計		0
C.東京美化株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	清掃業務等	2.1			
計		2.1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京美化株式会社	施設機械設備等保安全管理業務等	3.8	2	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	常陽メンテナンス株式会社	警備保安業務等の運営業務	2.2	6	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京美化株式会社	清掃業務等	2.1	2	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					